

●●●平成31年1月～3月期 栃木県中小企業景況調査(159回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】






point!

























今期(県内全体)の業況

 **D I 値**
-14.7
※全国 -14.9

全国の業況(DI値)は、前期比1.1ポイント悪化したものの、県内全体は前期比+1.2ポイントの「-14.7ポイント」と回復基調になり、全国を上回った。来期については更なる回復が見込まれる。産業別にみると、全体的に横這いとなる中、小売業は、状況は悪いながらも大幅に改善した。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	D I 値	-12.8	-10.0	42.3	-23.3	-13.3	-3.3
業況：今期は横這い、来期は大幅な改善が見込まれる(D I 値 前期比-0.9ポイント)							
建設業							
	D I 値	-10.1	-20.0	45.0	0.0	-20.0	-3.5
業況：今期は横這い、来期は改善の見通し(D I 値 前期比-2.1ポイント)							
小売業							
	D I 値	-15.9	-33.3	33.3	-25.6	-23.1	-12.5
業況：今期は大幅に改善、来期も改善の傾向(D I 値 前期比+12.6ポイント)							
サービス業							
	D I 値	-16.8	-20.0	23.3	-45.0	-35.0	-18.2
業況：今期は横這い、来期は小幅に減少の見通し(D I 値 前期比-1.6ポイント)							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

【経営上の問題点】

製造業

- 第1位： 原材料価格の上昇 (19.7%)
- 第2位： 製品ニーズの変化への対応 (15.8%)
- 第3位： 従業員の確保難 (14.5%)

小売業

- 第1位： 消費者ニーズの変化への対応 (26.8%)
- 第2位： 需要の停滞 (21.4%)
- 第3位： 大・中型店の進出による競争の激化 (17.9%)

建設業

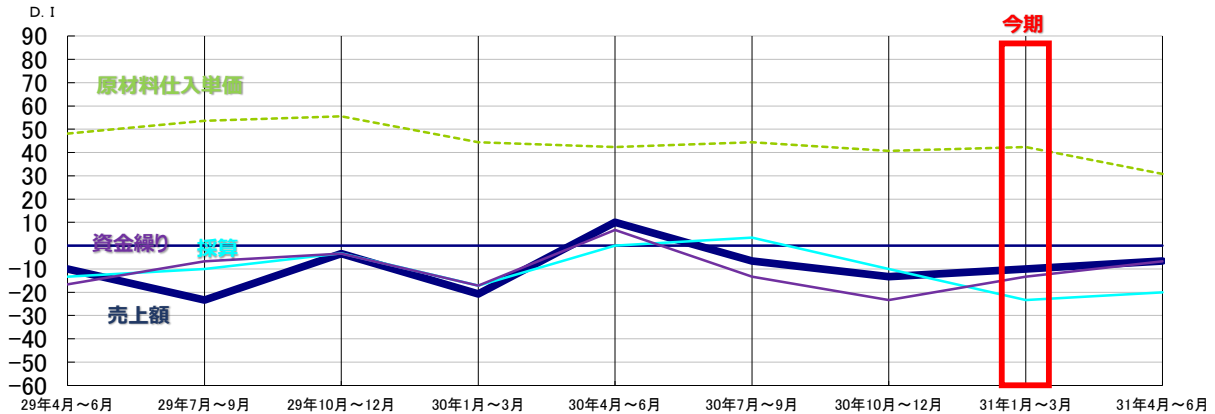
- 第1位： 熟練技術者の確保難 (18.8%)
- 第2位： 材料価格の上昇 (15.6%)
- 第3位： 従業員の確保難 (15.6%)

サービス業

- 第1位： 需要の停滞 (20.5%)
- 第2位： 利用者ニーズの変化への対応 (18.2%)
- 第3位： 従業員の確保難 (13.6%)

製造業

「採算は大幅に悪化、来期は原材料仕入単価が大幅に改善見込み」

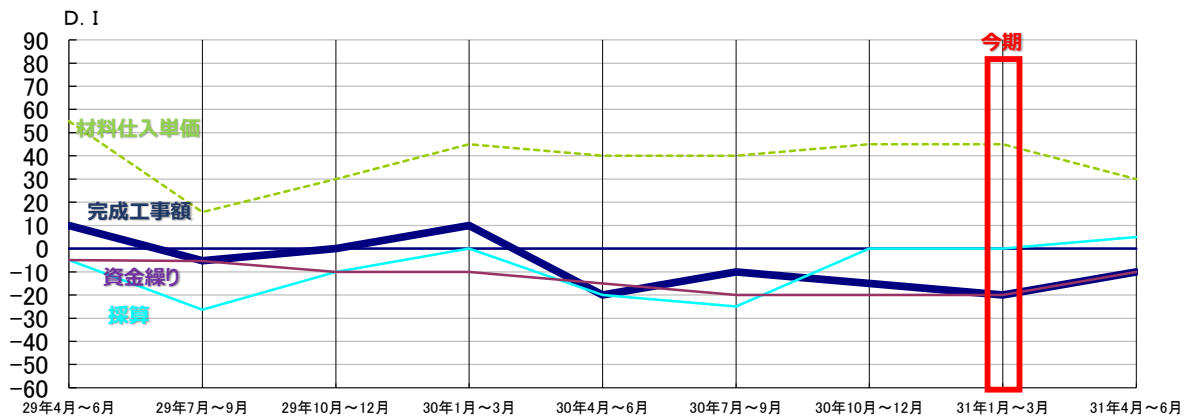


今期は、前期に比べて「売上額」が3.3ポイント(-13.3→-10.0)増加し、資金繰りについても10.1ポイント(-23.4→-13.3)改善されたものの、「採算」は13.3ポイント(-10.0→-23.3)悪化した。来期においては、「売上額」、「採算」、「資金繰り」が改善の見通しとなる。

「原材料仕入単価」は1.6ポイント(40.7→42.3)上昇したが、来期は11.5ポイント(42.3→30.8)の大幅な改善が見込まれる。

建設業

「今期は全体的に停滞傾向も、来期は大幅に改善する見込み」

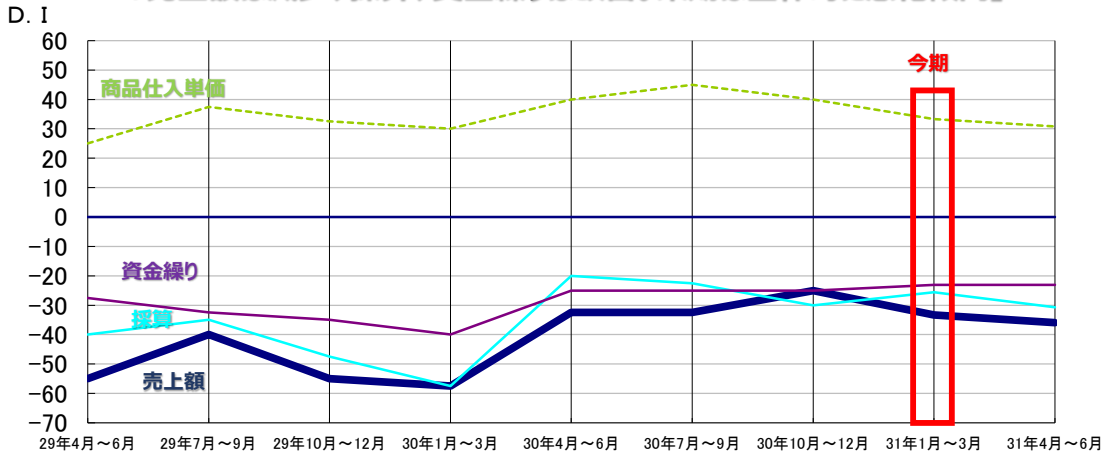


「売上額(完成工事額)」は前期比5.0ポイント(-15.0→-20.0)悪化。「採算」、「資金繰り」は横這いとなった。来期においては「売上額(完成工事額)」、「資金繰り」ともに10.0の大幅改善、採算は小幅な改善の見通しとなっている。

「材料仕入単価」についても今期は横這いだが、来期は15.0ポイントの大幅減少となる見込み。

小売業

「売上額は減少、採算、資金繰りは改善。来期は全体的に悪化傾向」

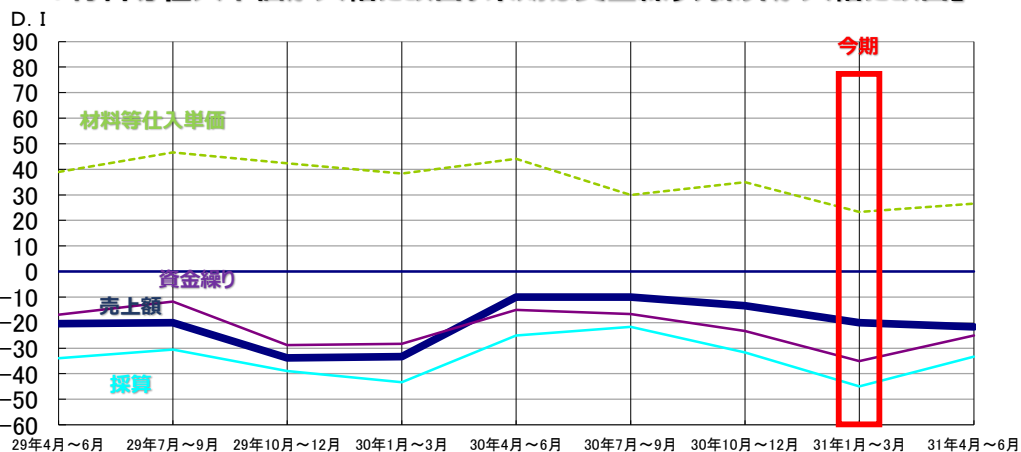


「売上額」は8.3ポイント(-25.0→-33.3)減少したものの、「採算」は4.4ポイント(-30.0→-25.6)、「資金繰り」は1.9ポイント(-25.0→-23.1)増加した。来期は「売上額」が2.6ポイント(-33.3→-35.9)、「採算」は5.1ポイント(-25.6→-30.7)悪化となり、「資金繰り」は横這いとなる見通しである。

「商品仕入単価」は6.7ポイント減少し、来期は2.5ポイント(33.3→30.8)の減少が見込まれる。

サービス業

「材料等仕入単価が大幅に改善。来期は資金繰り、採算が大幅に改善」



今期は「売上額」が6.6ポイント(-13.4→-20.0)の減少、「資金繰り」が11.7ポイント(-23.3→-35.0)、「採算」が13.3ポイント(-31.7→-45.0)の大幅減少となった。「材料等仕入単価」は11.7ポイント(35.0→23.3)の大幅な改善となった。

来期は「売上額」は減少するものの、「資金繰り」「採算」が大幅に改善、「材料等仕入単価」は小幅に上昇する見通し。

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的実施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

にのみや・小山市美田・那須町・上三川町・都賀町
佐野市あそ・間々田・湯津上・黒羽・塩谷町

○調査時点

平成31年3月1日

○調査対象期間

平成31年1月～3月期の実績及び、平成31年4月～6月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.1%
建設業	20	13.4%
小売業	39	26.2%
サービス業	60	40.3%
合計	149	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。